



photo: Kaizuka Jun-ichi

## 単語じゃなくてカラダ

7月1日から5日まで、幕張の日本コンベンションセンターでNETWORLD + INTEROP 2002 Tokyoが開催されました。今年には11のホールを使った展示、15万人を超える来場者と、過去最大の規模になりました。私もまる1日かけて会場を取材しましたが、IT不況などどこ吹く風。それどころか、「インターネットの世界はまだまだこんなもんじゃない。これからもっと凄くなる」と確信しました。

たしか、今から6年前の1996年に開催されたN+1でも同様のワクワクを感じた覚えがあります。ただ、そのころと比べると、技術は複雑になり、ITと言われる分野も広がりました。レイヤーごとに何が行われているかを細かく見ていかなければ、どこがすごいのか理解できません。96年の展示会にあったような「直感的な驚き」は少なくなっていますね。

今年のN+1でよく目にしたキーワードを挙げてみましょう。「VPN」「VoIP」「10GbE」「NAS」「Wi-Fi」「PKI」「IDS」「IPv6」などなど。どれも、ITにとっては重要なテクノロジーです。にもかかわらず、それによって何が変わるかを直感的に理解するのは難しいのです。これでは、一般のニュースメディアが「ITの未来は暗い」と報道したくなるのもうなずけます。どうも、我々は「新しい単語」を増やすことに躍起になりがちですね。誰よりも早く、人よりも多く「新しい単語」を集めてその意味を研究し、それらが自然に会話に出てくるように努力する。すらすら話せるようになると気分もいいわけですね。その結果、いわゆる世の中の言語とIT業界の言語がどんどん違うものになってしまいます。

そんなことを考えながら会場を歩いていたそのとき、私は度肝を抜かれる展示に出会いました。それはマイクロソフトのブースの一角に設置された小さなシアターでした。ワイドスクリーンに映し出されたオーケストラ。大爆音で鳴り響くものすごいクオリティの演奏。「な、なんだ、これは!」ただただ驚いている私の耳に、解説員のナレーションが聞こえてきます。「これはローカルファイルの再生ではありません。インターネット経由でのストリーミング再生です」。長年、この業界でいろいろなデモを見てきましたが、このときの感動はこれまでのレベルをはるかに超えていました。「つ、ついにここまでできたのか!」次世代Windows Mediaテクノロジー「Corona」に大きな可能性を感じた瞬間です。

もちろん、知識としてCoronaのことはよく知っているつもりでした。先読みを待たずに再生できる「Fast Stream」機能、5.1チャンネルのサラウンド配信を実現する「Windows Media Audio Professional」、DVDの約半分のファイルサイズでHDTVクラスの動画を配信できる「Windows Media Video codec」でも、すべての知識と単語はこのシアターの中では無力でした。私の中で喜んでいるのはほかでもない「カラダ」そのものだったのです。美しい映像、迫力のサウンド、そのどれもが気持ちいいのです。これがインターネットで自宅に届くなんて! そして、これなら、街を歩いているどんな人でもITのすごさを実感できるに違いありません。

いやあ、本当にいい勉強になりました。これからは「カラダで感じるインターネット雑誌」を目指そうと思います。

[ kurazono ]



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)